

## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算の概要

### 1. 当第2四半期(中間期)の業績について

当第2四半期(中間期)は下表のとおり、前年同期に比べて、個別、連結とも減収増益の決算となった。

(百万円未満切捨て)

| 区 分         |                       |                  |       | 前第2四半期 (A)   | 当第2四半期 (B)   | 比 較 (B-A)  |
|-------------|-----------------------|------------------|-------|--------------|--------------|------------|
| 売<br>上<br>高 | 個<br>別                | 船<br>舶<br>事<br>業 | 新 造 船 | (10隻) 20,740 | (12隻) 19,902 | (2隻) △838  |
|             |                       |                  | 改 修 船 | (35隻) 1,602  | (29隻) 1,374  | (△6隻) △228 |
|             |                       |                  | そ の 他 | 138          | 127          | △11        |
|             |                       |                  | 計     | 22,482       | 21,403       | △1,078     |
|             |                       | 陸上・サービス事業        |       | 37           | 39           | 1          |
|             |                       | 計                |       | 22,519       | 21,442       | △1,077     |
|             | 連<br>結<br>子<br>会<br>社 | 船舶事業             |       | 27           | 37           | 9          |
|             |                       | 陸上・サービス事業        |       | 240          | 172          | △67        |
|             |                       | 計                |       | 267          | 209          | △58        |
|             | 連<br>結                | 船舶事業             |       | 22,509       | 21,440       | △1,068     |
|             |                       | 陸上・サービス事業        |       | 278          | 211          | △66        |
|             |                       | 合計               |       | 22,787       | 21,652       | △1,135     |

(注)個別・連結売上高の主な減収要因は、新造船の売上対象隻数が前年同期に比べ2隻増加(10隻→12隻)したものの、売上対象船の船種の違い、各船ごとの決算日における工事進捗度が異なることによる。

改修船については、工事期間が長く、当第2四半期の売上とならない改造工事に取り組んでおり、その間、修繕ドックにおいて一般の修繕工事ができないことから、前年同期に比べ売上対象船が6隻減少し、減収となった。

(百万円未満切捨て)

| 区 分    |            |     | 前第2四半期 (A) | 当第2四半期 (B) | 比 較 (B-A) |
|--------|------------|-----|------------|------------|-----------|
| 損<br>益 | 営 業<br>利 益 | 個 別 | 624        | 1,366      | 741       |
|        |            | 連 結 | 636        | 1,391      | 755       |
|        | 経 常<br>利 益 | 個 別 | 368        | 1,334      | 966       |
|        |            | 連 結 | 377        | 1,357      | 979       |
|        | 中間<br>純利益  | 個 別 | 353        | 1,071      | 717       |
|        |            | 連 結 | 357        | 1,083      | 726       |

(注)前年同期については、鋼材をはじめとする資機材価格の値上がりなどの影響により、低採算となった船の売上高が占める割合が多かったことから、利益が低調となっていた。一方で、当第2四半期については、為替相場が円安傾向で推移していること、生産性向上及び諸経費の削減に取り組んだことから増益となった。

### 2. 船舶事業の受注状況等について

新造船市場においては、これまでの重油に代わる新燃料(LNG、水素、メタノール、アンモニア、バイオ燃料等)を造船所、船主ともに引き続き検討を進めている状況であるが、特に中小の船主においては、様子見の状況が続いている。また、資機材価格及び人件費の値上がりに伴い製造コストは上昇している一方で、運賃、用船料の水準が折り合わないことや、造船各社の期近な船台が埋まっていることから対象納期が3年以上先となるような先物も多くなっており、造船所、船主ともに発注には慎重な姿勢を示している。

このような状況のもと、受注については、新造船7隻、修繕船他で607億5百万円を受注し、受注残高は、新造船28隻他で1,397億62百万円(前年同期比40.0%増)となった。

3. 2026年3月期の業績予想について

当第2四半期において、2025年10月10日に公表した業績予想からの変更はない。  
また、2026年3月期の配当については、1株当たり40円の期末配当を実施する予定である。  
なお、当社の業績に変動を与える事象が生じた場合には、速やかに開示する。

| 区 分       | 通期(予想)  |         |
|-----------|---------|---------|
|           | 個 別     | 連 結     |
| 売 上 高     | 46, 000 | 46, 500 |
| 営 業 利 益   | 2, 600  | 2, 600  |
| 経 常 利 益   | 2, 450  | 2, 450  |
| 当 期 純 利 益 | 2, 000  | 2, 000  |

(おわり)